

暮らしの、新たな原動力へ。



2024年3月期 決算説明会

目次

- I . 2024年3月期 決算概要
- II . 2025年3月期 業績予想
- III . 中長期経営計画の取り組み

“Creating New Value for the Future”1stステージ

I . 2024年3月期 決算概要

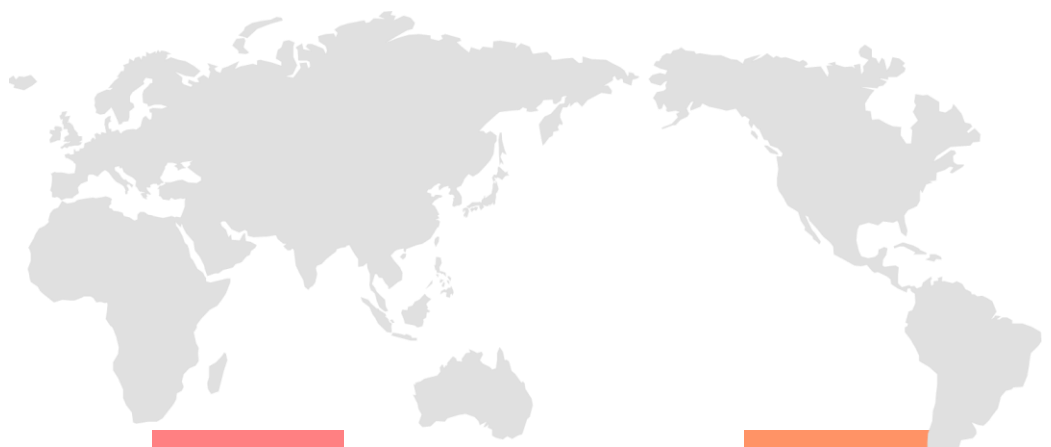
2024年3月期 決算ハイライト

(単位：百万円、%)

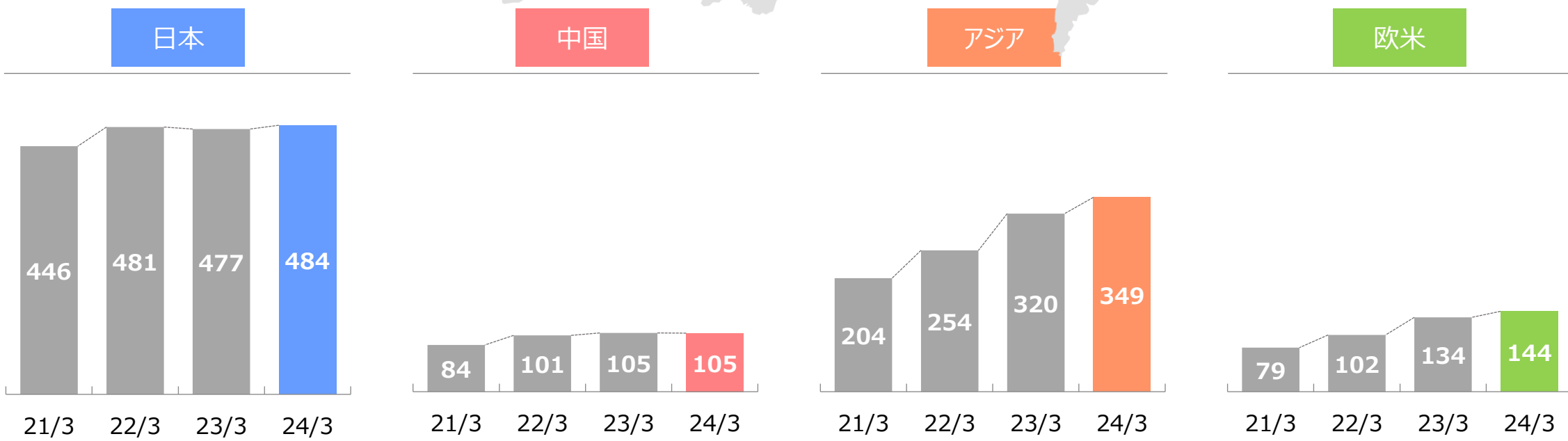
		2023/3	2024/3									
		実績	実績	前期比	業績予想値	達成率 (対業績予想値)						
売	上	収	益	103,608	108,278	+4,670	105,000	103.1%				
コ	ア	営	業	利	益	6,734	7,584	+850	7,500	101.1%		
営	業	利	益	8,259	7,772	△486	8,700	89.3%				
親	会	社	の	所	有	者	に	5,722	6,180	+457	6,300	98.1%
帰	属	す	る	当	期	利	益					
R		O		E	7.6%	7.6%	+0.0%	-	-			
為替レート	U	S	D	136.00	145.31	-	140.00	-				
	T	H	B	3.84	4.12	-	4.00	-				
	人	民	元	19.72	20.21	-	19.50	-				

- ・売上収益、コア営業利益および親会社の所有者に帰属する当期利益は、過去最高を記録
- ・減損損失の計上(1,427百万円)により、営業利益は減益となったが、為替差益の増加もあり、親会社の所有者に帰属する当期利益は増益

2024年3月期 所在地別売上収益



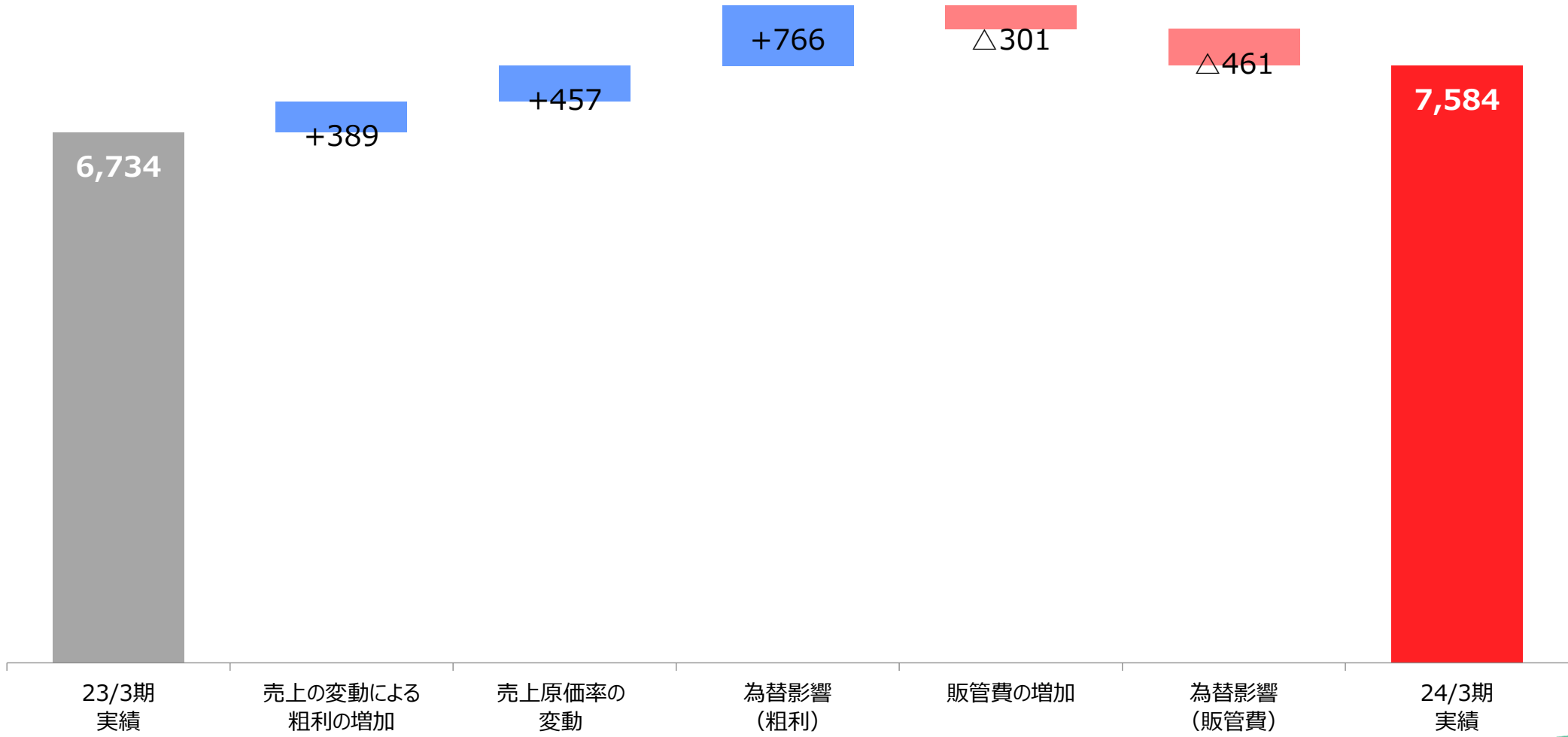
(単位：億円)



(注)所在地別売上収益はセグメント間取引消去後。

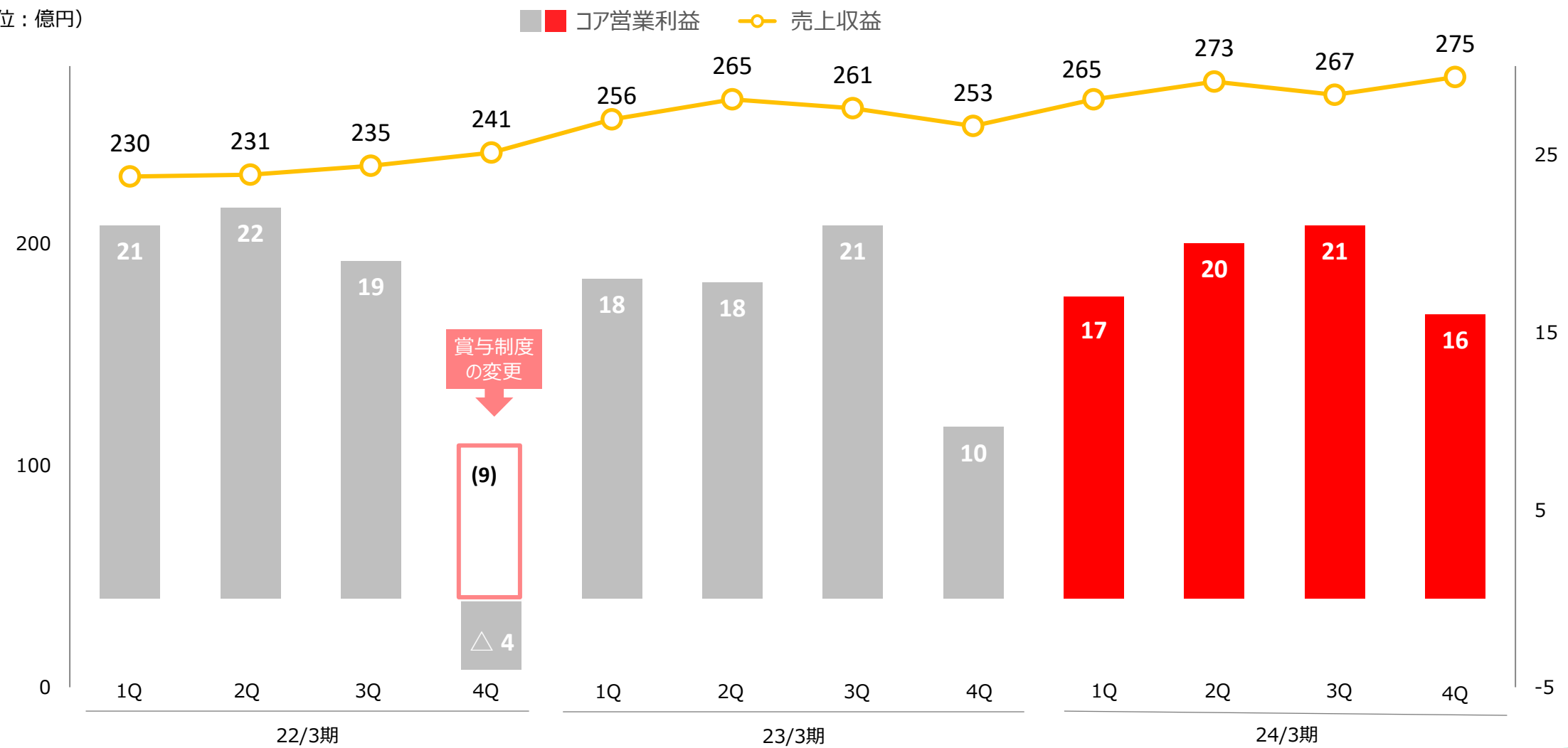
2024年3月期 連結コア営業利益 増減分析

(単位：百万円)



四半期推移（売上収益/コア営業利益）

(単位：億円)



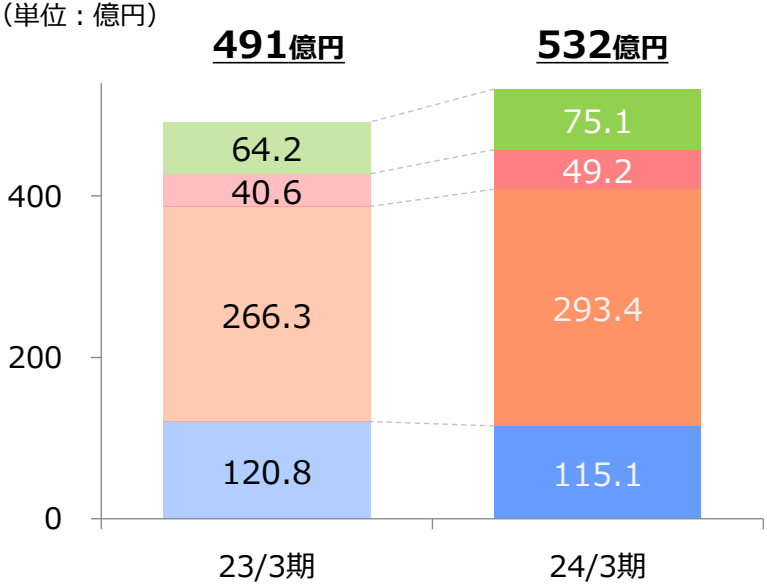
2024年3月期 セグメントの状況

(単位：百万円)

	2023/3	2024/3		
	実績	実績	増減額	増減割合
売上収益	103,608	108,278	+4,670	+4.5%
自動車部品事業	49,198	53,282	+4,083	+8.3%
産業資材事業	35,352	36,672	+1,320	+3.7%
高機能エラストマー製品事業	14,787	13,769	△1,018	△6.9%
その他	5,266	5,352	+85	+1.6%
セグメント間消去	△997	△798	+199	-
コア営業利益	6,734	7,584	+850	+12.6%
自動車部品事業	3,289	4,111	+822	25.0%
産業資材事業	3,218	3,492	+274	+8.5%
高機能エラストマー製品事業	359	△151	△511	-
その他	59	73	+13	+23.3%
セグメント間消去等	△192	57	+250	-

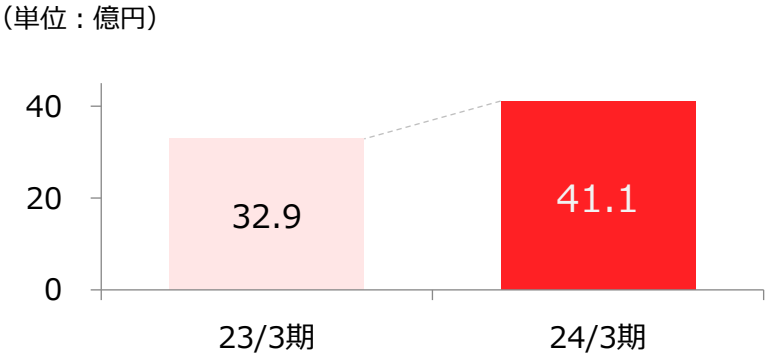
自動車部品事業 概要

所在地別売上収益



欧米他	+16.9%	■ 補修市場向け製品の販売が増加。
中国	+21.1%	■ 景気減速の影響を受けつつも、自動車生産台数の回復により、補機駆動用伝動ベルトの販売が増加。
アジア	+10.2%	■ 主要顧客の生産回復により、補機駆動用伝動ベルトおよび伝動システム製品の販売が増加。 ■ 二輪車用変速ベルトの販売も増加
日本	△4.7%	■ 当社製品採用車種の減少にともない、補機駆動用伝動ベルトおよびシステム製品の販売が減少。

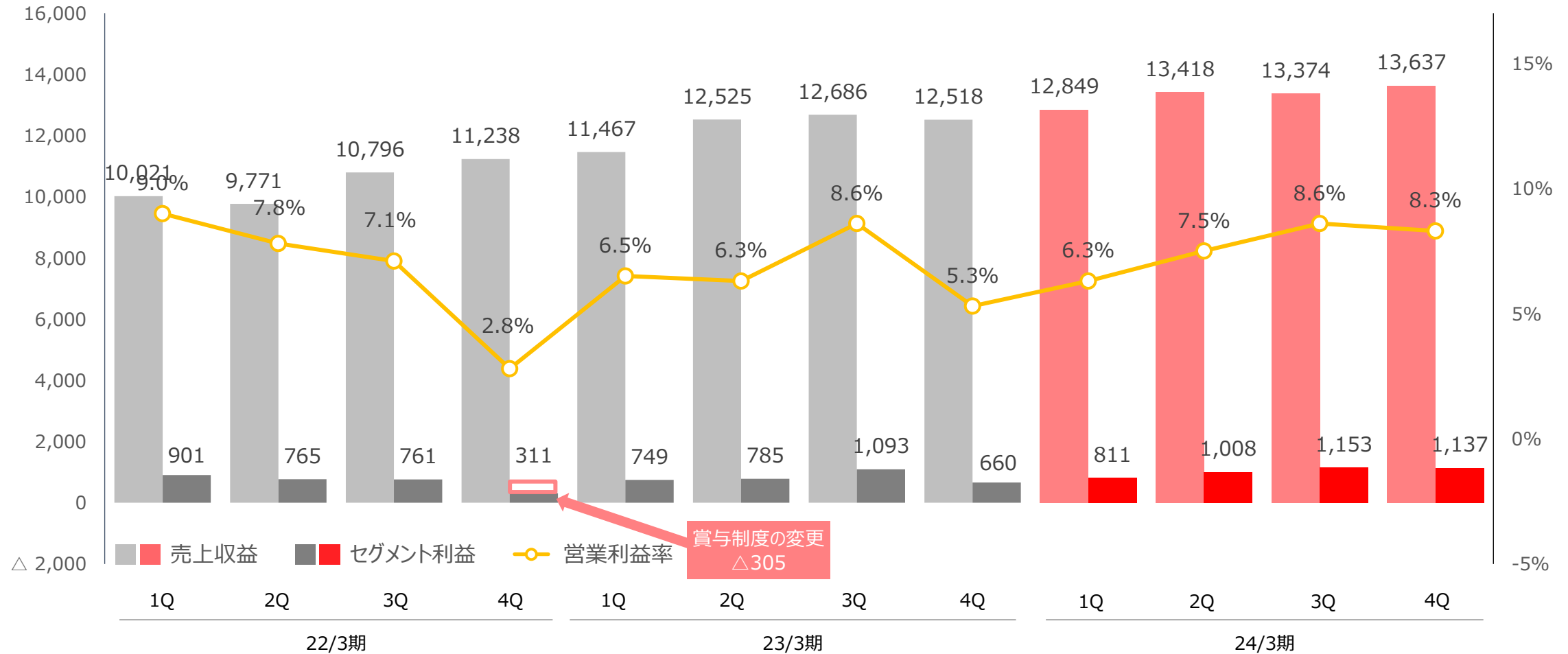
コア営業利益



コア営業利益	+25.0%	■ 販売の増加により、利益が増加
--------	--------	------------------

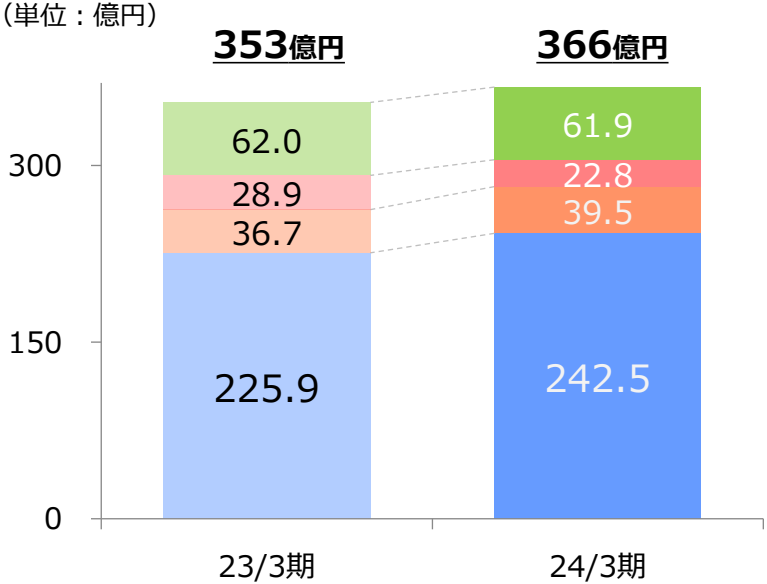
自動車部品事業 四半期推移

(単位：百万円)



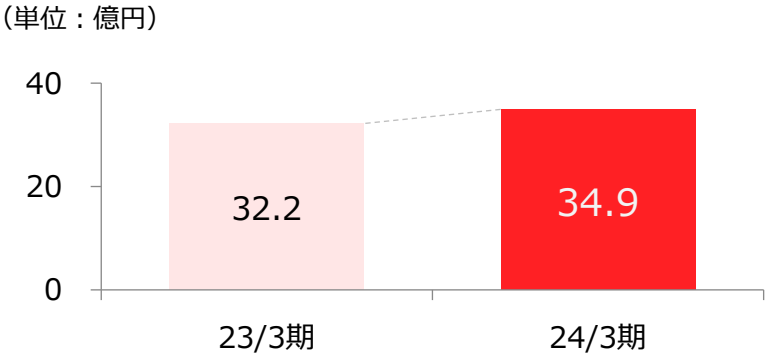
産業資材事業 概要

所在地別売上収益



欧米他	△0.0%	産業機械用伝動ベルトなどの販売が減少。
中国	△21.2%	農業機械用伝動ベルトなどの販売が減少。
アジア	+7.5%	インドにおいて農業機械用伝動ベルトの販売が増加。 ベトナムにおいて、農業機械用伝動ベルトの販売が減少。
日本	+7.3%	民間設備投資の減少により、産業機械用伝動ベルトの販売が減少。 コンベヤベルトおよび樹脂コンベヤベルトの販売が増加。

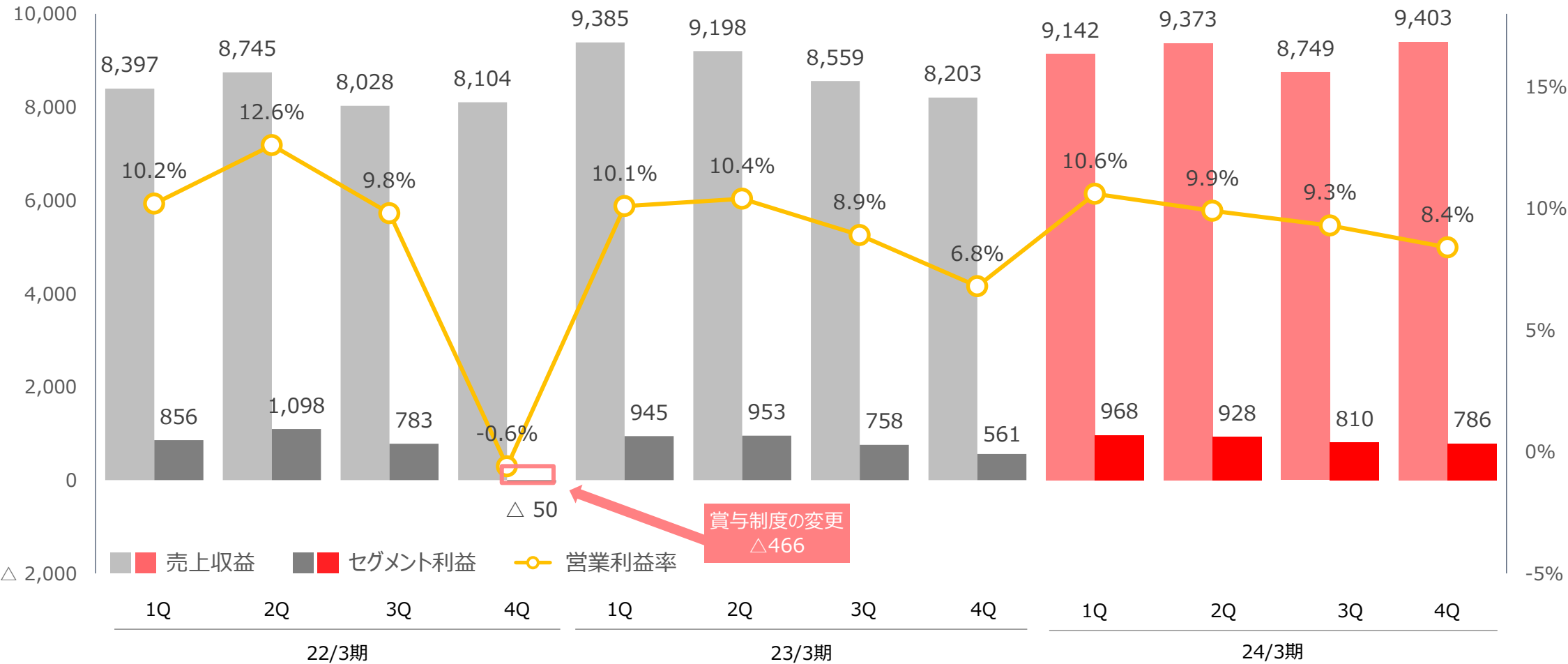
コア営業利益



コア営業利益	+8.5%	販売の増加により、利益が増加。
--------	-------	-----------------

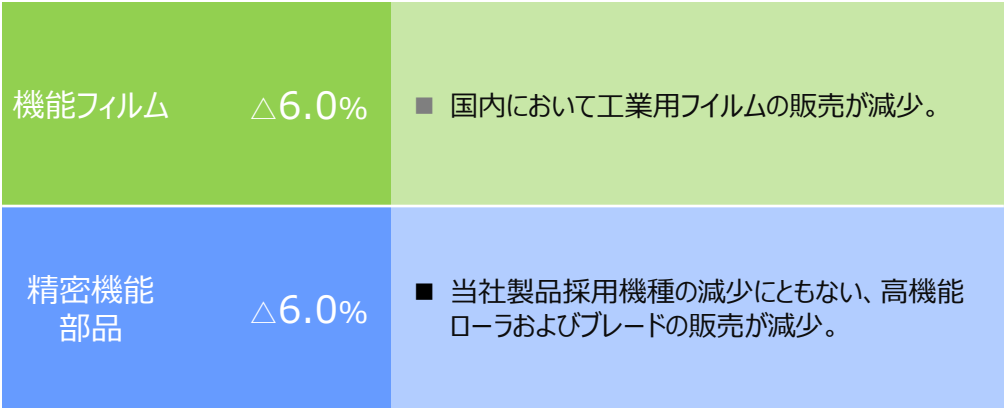
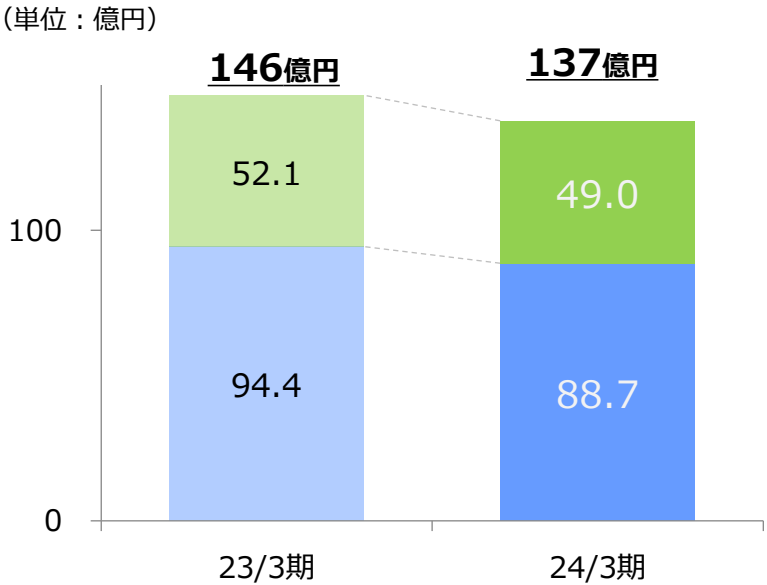
産業資材事業 四半期推移

(単位：百万円)

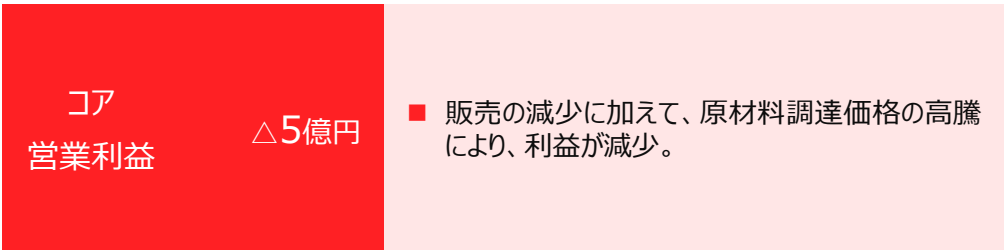
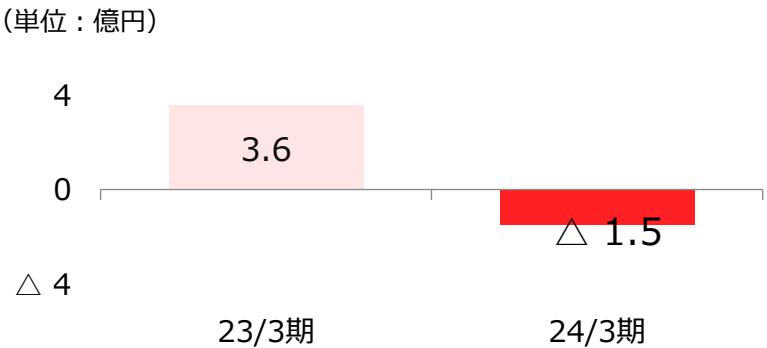


高機能エラストマー製品事業 概要

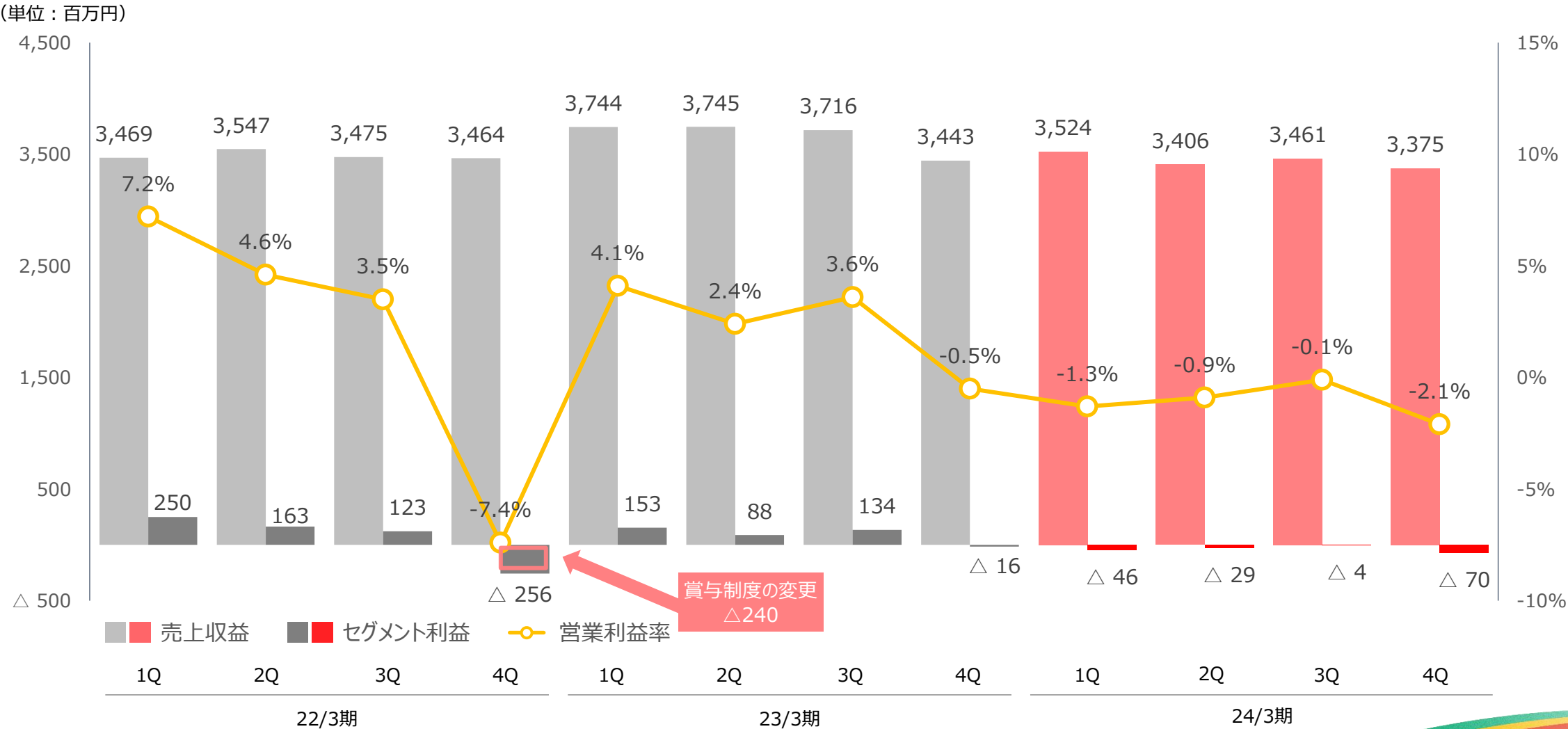
製品別売上収益



コア営業利益



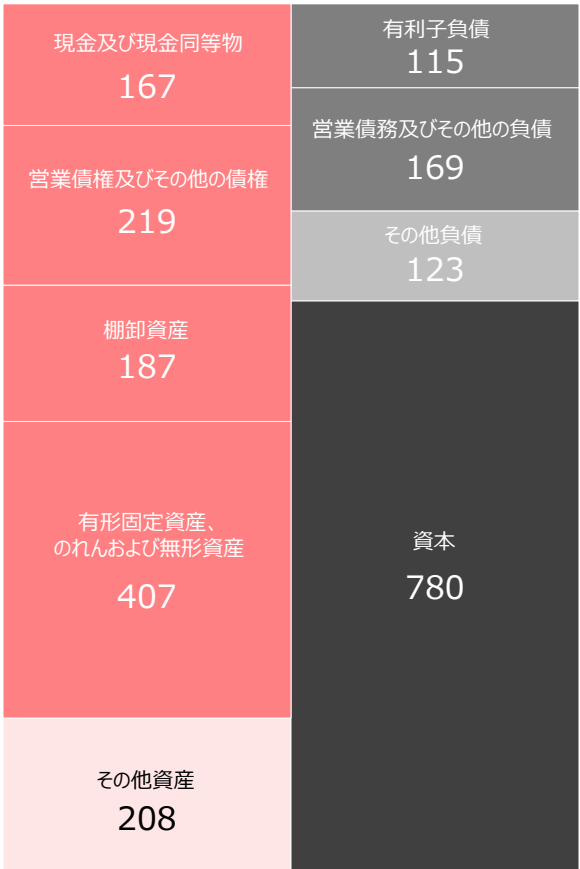
高機能エラストマー製品事業 四半期推移



連結財政状態計算書

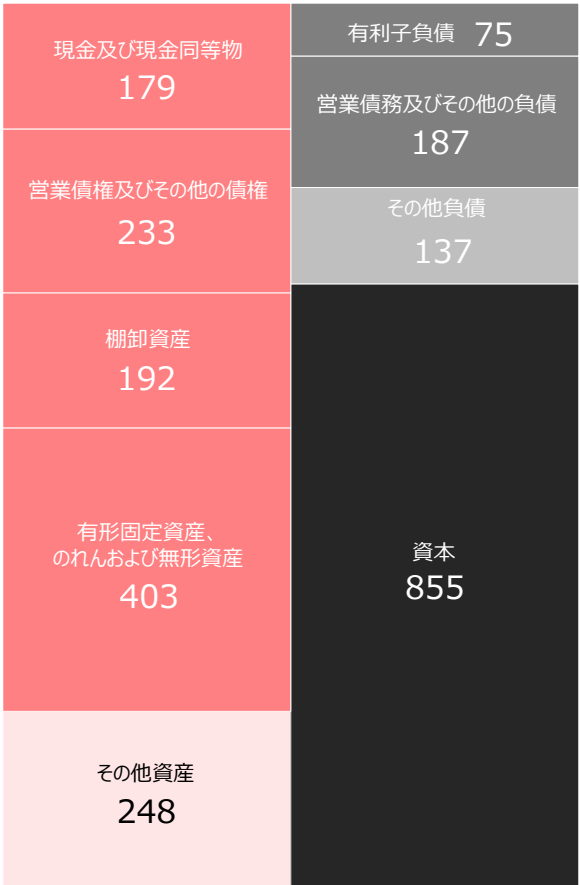
(単位：億円)

1,189億円

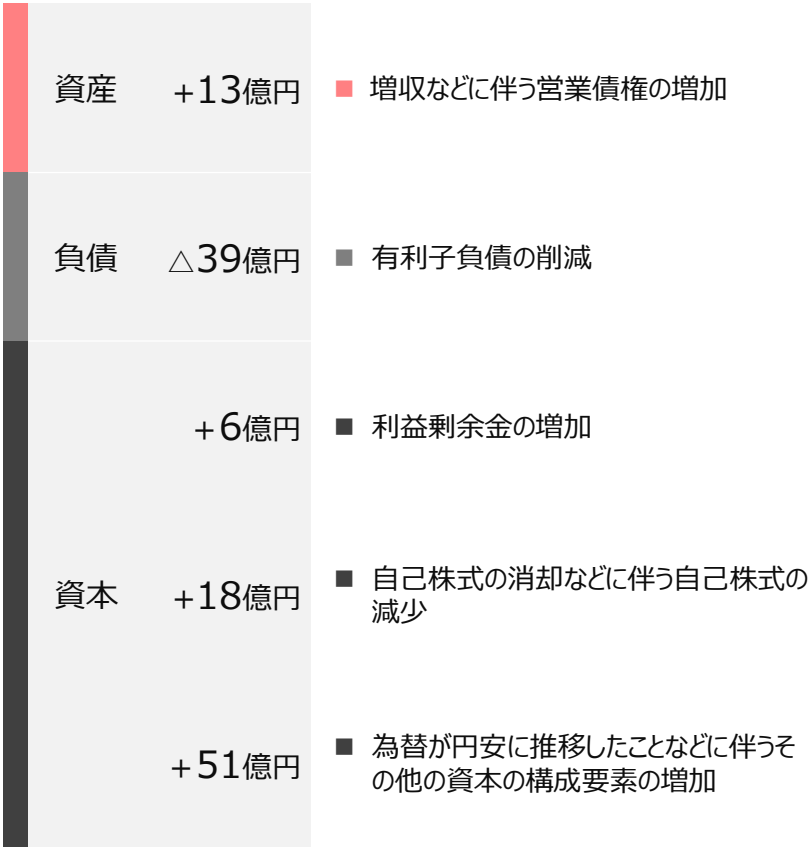


23/3期

1,256億円



24/3期



Ⅱ． 2025年3月期 業績予想

2025年3月期 業績予想

(単位：百万円、%)

	2024/3	2025/3		
	実績	予想	前期比	
売上収益	108,278	110,000	+1,721	+1.6%
コア営業利益	7,584	8,200	+615	+8.1%
営業利益	7,772	9,600	+1,827	+23.5%
親会社の所有者に 帰属する当期利益	6,180	6,500	+319	+5.2%
設備投資	6,141	6,300	+158	+2.6%
減価償却費	5,859	5,800	△59	△1.0%
研究開発費	4,130	4,000	△130	△3.1%
為替レート	U S D	145.31	145.00	-
	T H B	4.12	4.10	-
	人 民 元	20.21	20.00	-

Ⅲ. 中長期経営計画の取り組み

“Creating New Value for the Future”1stステージ

新中長計(Creating New Value for the Future)の全体像

FY2023 ← CV-1 → FY2026 FY2027 ← CV-2 → FY2030 FY2050

人と社会を支え、今と未来をつなぐBEST PARTNER

『Creating New Value for the Future』

中長期戦略

指針1

価値創造

「共創」を軸に新規事業の進化とコア事業の深化を加速

指針2

スマートものづくり創造

バンドー夢工場への布石

指針3

未来に向けた組織能力の進化

進化を支える土壌づくり

価値創造

最適な事業ポートフォリオへ

夢工場モデルラインの実現

安全・安心で地球環境にやさしいものづくり

未来に向けた組織能力の進化

進化が連続的に起こっている

ビジョン

共創

新規事業

コア事業

バンドー夢工場のグローバル展開

圧倒的競争優位の実現

中長期目標

売上収益

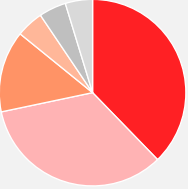
1,200億円

コア営業利益

120億円

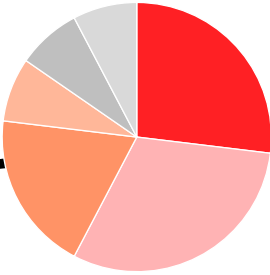
R O E

12%



非財務指標

CO₂排出量 38%削減 (2013年度比)



持続的成長へ

カーボンニュートラルを実現する

収益力の強化に向けた取り組み①

自動車部品事業

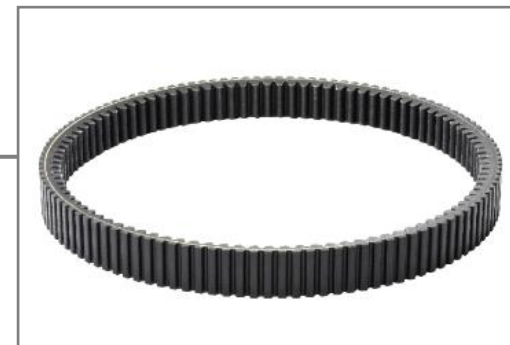
電動化/環境規制対応製品の拡充

- ・ワイパーブレードラバーの受注が増加
- ・顧客要求に対応するため、生産設備の増強を決定



パーソナルモビリティ市場への深化

- ・セルロースナノファイバー（CNF）を適用した高負荷対応ダブルコグベルトの販売を開始
- ・高伝動能力、長寿命を武器にATV、UTV向けに販売拡大を目指す



再構築事業の進展

- ・北米事業の生産体制の見直しが進み、採算性が改善



新規事業

電子資材事業の事業化

- ・銀ナノ粒子接合材「FlowMetal®」に関して、生産設備をスケールアップ
- ・パワー半導体用途において、顧客による評価を継続中



収益力の強化に向けた取り組み②

高機能エラストマー製品事業

機能フィルム製品の収益力の低下により、当事業は2023年度において減損損失を計上

課題

- ・ 非住宅関連の需要減少などもあり、販売数量が減少
- ・ 円安や原材料価格の高騰等により採算が悪化

今後の取り組み

- ・ 2024年度においては、販売シェアを拡大していくことに加え、価格転嫁を進めることで、赤字脱却を目指す
- ・ 長期的に、安定的な収益基盤の形成を目指し、**高付加価値製品の拡販**や生産体制の見直しを図っていく

高付加価値製品

光学用透明粘着剤（OCA） 「Free Crystal®」

- ・ 高い粘着性能と柔軟性の両立
- ・ 幅広い厚み帯を有し、車載・産業機械用途での需要を取り込む



高機能フィルム製品（建装／車両加飾等）

- ・ 優れた厚み精度と薄膜化による環境負荷の低減
- ・ 多彩なカラーラインナップとエンボス加工されたフィルムの複層化により、意匠性にも優れる



資本効率の向上

基本方針

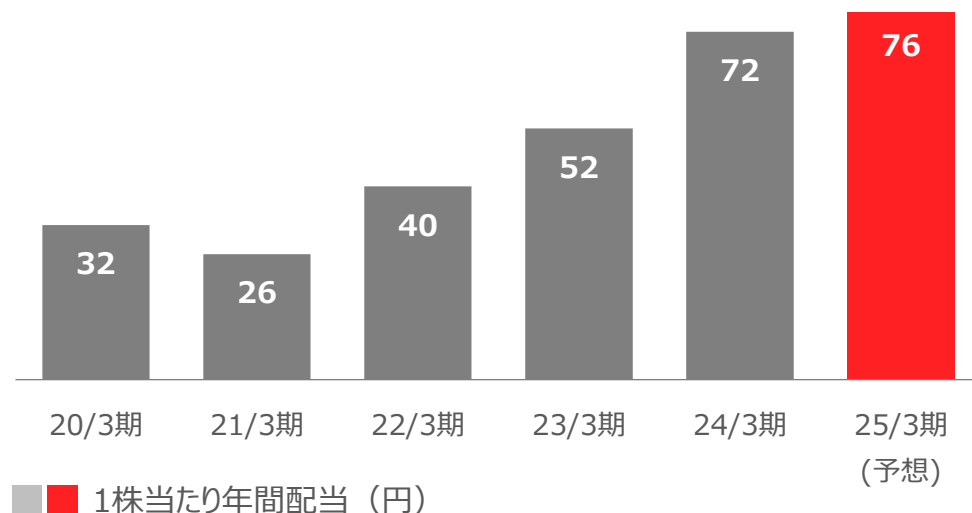
収益および財務状況に配慮しつつ、当面の間、1株当たり年間配当金額26円を下限として、**連結配当性向50%を目途に安定した利益配当**を行うことを目標とし、利益還元の充実に努める。
また、中長期的な投資計画、市場環境および資本の状況などを総合的に勘案し、**機動的な自己株式の取得**を検討する

今期の取り組み

1株当たり年間配当金は76円（前年度比＋4円）を見込む
市場買い付けによる自己株式の取得を決定
（上限株数150万株、上限金額20億円、取得期間 2024/5/16-2025/4/30）

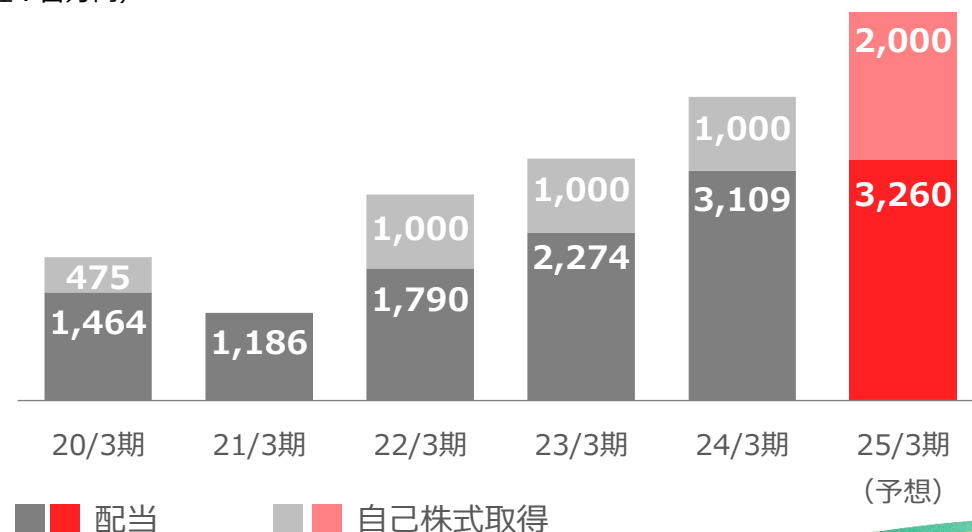
1株当たり年間配当の推移

（単位：円）



株主総還元額の推移

（単位：百万円）



（注）従業員持株ESOP信託および
役員報酬BIP信託への支払配当控除後

エンゲージメントの向上

- ・エンゲージメント調査により、会社と従業員の関係性を可視化し、従業員同士の対話による職場改善を実施
- ・今後、2026年度に向けた達成目標を設定し、調査・対話・実行のサイクルを継続



気候変動リスクに向き合い、 社会の発展に寄与する

- ・グループ各社における2030年度のCO2削減目標（2013年度比）を整理
- ・太陽光発電システムや省エネ設備等の導入を加速



BERICA（スペイン）



BATIC（中国）

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。

将来の業績は、経営環境の変化などにより、実際の結果と異なる可能性があることにご留意ください。又、本資料は情報の提供のみを目的としており、取引の勧誘を目的としておりません。